

令和5年(2023年)12月22日
保健体育課 学校体育・SAGA部活担当
担当者 黒土、吉田
内線 3356 直通 0952-25-7235
E-mail: hoken-taiiku@pref.saga.lg.jp

「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における 佐賀県の結果についてお知らせします

全国の小学校5年生、中学校2年生を対象に、スポーツ庁が実施した「令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、県内公立学校の調査結果が提供されましたのでお知らせします。

記

- 1 調査実施期間 令和5年4～7月(各学校で実施)
- 2 調査方法 全数(悉皆)調査方式
- 3 調査対象 小学校5年生、中学校2年生(特別支援学校を含む。)
- 4 公立学校の実施学校・児童生徒数(分校を含む)

	佐賀県		全 国	
	参加学校数 (校)	児童生徒数 (人)	参加学校数 (校)	児童生徒数 (人)
小学校5年生	164	7,253	18,693	977,758
中学校2年生	96	6,728	9,426	867,847

(注) 佐賀県の公立小学校児童数は、県立特別支援学校小学部を含む。
佐賀県の公立中学校生徒数は、県立中学校、県立特別支援学校中学部を含む。

裏面に続く→

5 佐賀県の結果概要

(1) 体力合計点の全国平均値との比較

- ・小学校5年生男女及び中学校2年生男女の全ての区分において、体力合計点で全国平均値を上回りました。(2年連続3回目) (単位:点)

区分		体力合計点		全国平均値との差
		佐賀県平均値	全国平均値	
小学校 5年生	男子	52.78	52.59	0.19
	女子	54.42	54.28	0.14
中学校 2年生	男子	42.32	41.32	1.00
	女子	47.32	47.22	0.10

(2) 各種目の全国平均値との比較

- ・全ての区分において、20mシャトルラン及びソフト・ハンドボール投げで全国平均値を上回りました。
- ・全ての区分において、上体起こしで全国平均値を下回りました。
- ・小学校5年生男女において長座体前屈と50m走で、中学校2年生男女において握力と立ち幅跳びで全国平均値を上回りました。

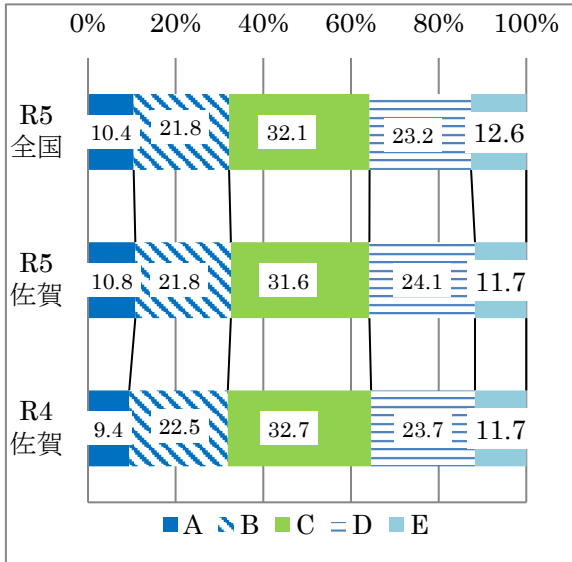
		小学校5年生		中学校2年生	
		男子	女子	男子	女子
		平均値	平均値	平均値	平均値
握力 (kg)	全国	16.13	16.01	29.02	23.15
	佐賀	△ 16.05	△ 15.98	◎ 29.58	◎ 23.58
上体起こし (回)	全国	19.00	18.05	25.82	21.62
	佐賀	△ 18.68	△ 17.76	△ 25.56	△ 21.11
長座体前屈 (cm)	全国	33.98	38.45	44.16	46.27
	佐賀	◎ 34.57	◎ 38.58	△ 43.45	△ 44.93
反復横とび (点)	全国	40.60	38.73	51.22	45.65
	佐賀	△ 40.32	△ 38.56	◎ 51.58	△ 45.63
持久走 (秒)	全国			409.02	306.26
	佐賀			△ 416.59	△ 316.45
20mシャトルラン (回)	全国	46.92	36.80	78.07	50.70
	佐賀	◎ 48.27	◎ 38.01	◎ 81.81	◎ 51.56
50m走 (秒)	全国	9.48	9.71	8.01	8.95
	佐賀	◎ 9.37	◎ 9.63	◎ 7.98	△ 8.97
立ち幅とび (cm)	全国	151.13	144.29	197.02	166.34
	佐賀	△ 148.54	△ 142.32	◎ 197.31	◎ 166.73
ソフト・ハンドボール投げ (m)	全国	20.52	13.22	20.40	12.43
	佐賀	◎ 21.71	◎ 13.85	◎ 21.09	◎ 12.51

※ [◎ : 全国平均値を上回っている (速い)、△ : 全国平均値を下回っている (遅い)]

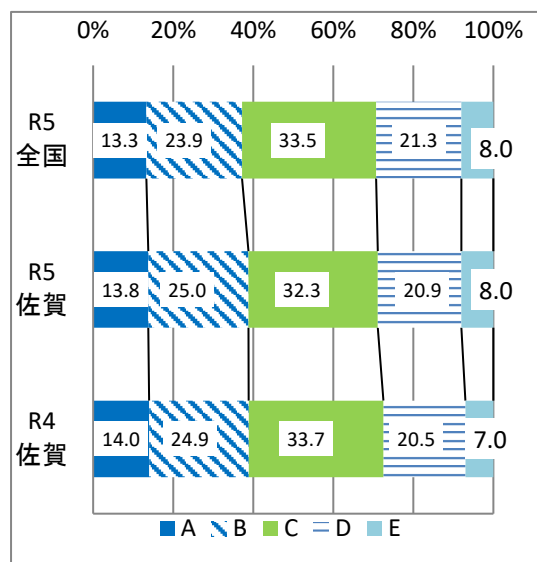
(3) 体力総合評価の令和4年度との比較

- ・体力総合評価(※)を令和4年度と比較すると、男子の小学校5年生と中学校2年生においてA・Bの割合が増加しました。
- ・女子の小学校5年生と中学校2年生においてはA・Bの割合が減少し、D・Eの割合が増加しました。

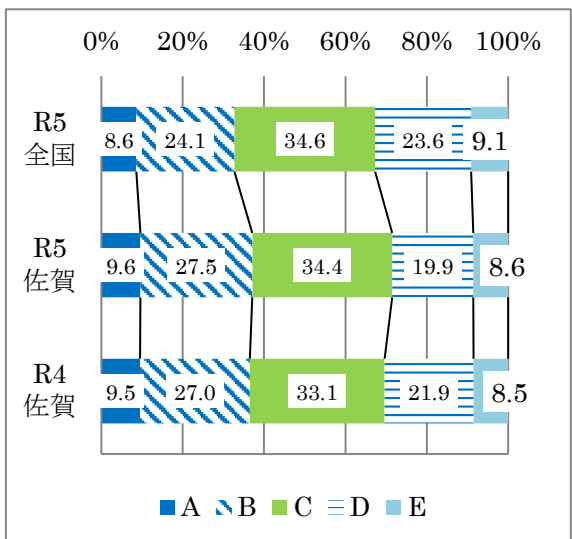
《小学校5年生男子》



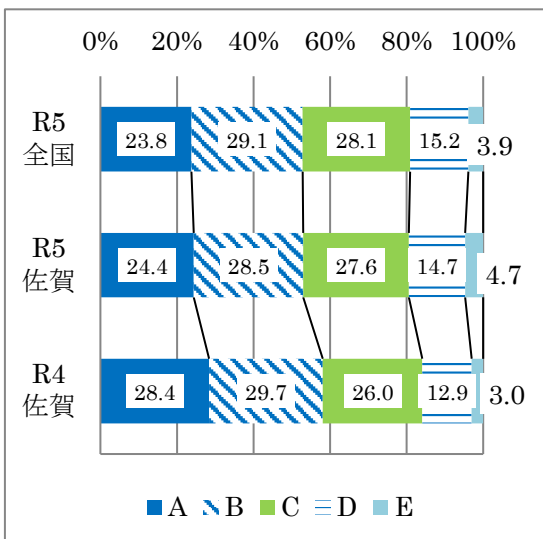
《小学校5年生女子》



《中学校2年生男子》



《中学校2年生女子》



※体力総合評価

体力総合評価とは、体力合計点をもとに年齢別に設定された総合評価基準表にあてはめて、A、B、C、D、Eの5段階で総合評価したもの。Aは体力評価が最も高く、Eが最も低い。

裏面に続く→

(4) 質問紙調査結果

内容については、添付資料の「児童生徒質問紙及び学校質問紙調査の結果」を参照ください。

6 今後の目標

体力合計点において、全調査対象で継続して全国平均値を上回るよう取り組みます。また、全調査対象において体力総合評価Eの児童生徒の減少に向けた取組を行います。

7 体力向上に向けた主な取組

各学校において、一人一人の児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣（特に運動習慣が身に付いていない児童生徒）を把握し、体育・健康に関する指導の改善が図られるよう取組を継続していきます。

(1) 運動に親しむ環境の充実

① スポーツチャレンジによる運動機会の提供

スポーツチャレンジとは、学級単位等で簡単に取り組める種目を設け（7種目）、記録をホームページ上に記載して、回数や歩数、タイムを競い合うことで、運動に親しむきっかけづくりとしたり、運動する意欲を高めたりする取組。

② さがんキッズ体力アップホームページの充実

体力向上の取組好事例や保健体育授業の充実に役立つ参考資料、コンテンツ等を掲載。

③ 体力向上優良校等の表彰

スポーツチャレンジの取組、体力・運動能力調査結果をもとに学校・学級等を表彰。

(2) 小・中学校の体育・保健体育の授業に退職教員やその種目の専門家等の授業協力者を派遣

(3) 体力・運動能力調査の記録用個票の配布

全児童に記録用の個票を配布。児童個々の体力・運動能力の現状について、学校及び保護者の理解や連携を支援し、運動習慣や生活習慣等の改善に役立てている。

(4) 教職員の資質向上を図るための研究会・研修会等の開催

(5) 体育・保健体育授業充実にに向けた研究指定校の設置